

8 金融リテラシー向上や金融 犯罪被害防止に向けた取組

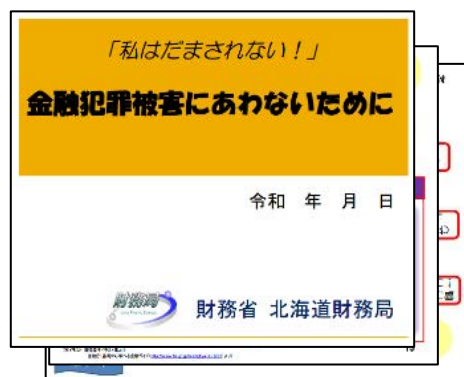
お金の知識や判断力が身に付く金融経済教室、投資詐欺など金融犯罪の手口や対処法を分かりやすく説明した金融犯罪防止講座を実施しています。

高齢者等向け「金融犯罪被害防止」に係る取組

役場や公民館、大学等において啓発講演を実施することに加え、警察署と連携の上、街頭において啓発チラシやポケットティッシュを配布し注意喚起を実施するなど、金融リテラシーの向上を図り、社会問題となっている特殊詐欺被害等防止に貢献しているもの。

概要

- 特殊詐欺被害が顕著である北海道の実情等を踏まえ、**社会問題となっている高齢者の特殊詐欺被害防止**を目的に、役場や公民館等において、悪質な勧誘等に関する注意喚起や心構え、特殊詐欺の各種事例等の最新情報について**啓発講演を実施**。



- 大学では**新入生**に向けて、SNS等を介した金融トラブルについての注意喚起を中心とした講話を実施するなど、**金融リテラシーの向上**を図った。

- また、**警察署等と連携**し、年金支給日に地域の高齢者が特殊詐欺に遭わないように、街頭において**啓発チラシやポケットティッシュ**を配布し注意喚起を実施している。

取組の成果

- 講演や啓発チラシ等の配布等を通じて、**金融リテラシーの向上**を図り、**特殊詐欺被害等の防止**に貢献。
- 参加者の声
 - ・色々な例があり、勉強になった。
 - ・TV等で聞くことは多いが、具体的に説明を聞いてよかった。
 - ・一人で判断しないことを身に付けようと思う。
 - ・自分は大丈夫と過信せず、できることをしたいと思った。



金融広報アドバイザー間での情報交換会を開催

高校生等向け金融経済セミナーのより効果的な実施に向け、盛岡財務事務所が構成員となる岩手県金融広報委員会の主催により県内の金融広報アドバイザーが一堂に会する情報交換会を開催し、講義内容等のノウハウを共有。

概要

- 「人生100年時代」の到来を見据えた家計管理や資産形成へのニーズ、成年年齢引下げに伴う高校向け学習指導要領の改訂等、「**高校生等を対象とした金融経済セミナー**」の重要性が高まっている中、岩手県金融広報委員会は、アドバイザー間で講義内容等を共有し**今後のセミナーに生かせる事項を各々の立場で見出す**ことを目的として、アドバイザー同士の情報交換会を開催。
- 盛岡財務事務所は岩手県金融広報委員会の構成員として**上記セミナーの講師派遣事業に例年協力**。情報交換会では、盛岡財務事務所が実践している講義の一部を講師の立場でテーマに沿って共有。

情報交換会のテーマ

- ・各自の標準的な講義内容や進め方、講義資料の共有
- ・工夫している点や課題等の共有
- ・共有された情報、経験談の深掘り・意見交換

取組の成果

- 金融広報アドバイザー6名のほか、県民生活センターや日本銀行盛岡事務所、盛岡財務事務所の関係者ら計11名が参加し、金融経済教育の重要性やその意義について熱量の高い意見が交わされた。
- 講義内容等のノウハウが共有され、それらがセミナーで展開されることで、高校生等の金融リテラシーの向上に寄与することが期待される。



【情報交換会の様子】

参加者の声

- ・講義内容は各アドバイザーの独自性が強いため、他者の具体的な進め方や工夫は大変参考になった。
- ・学校側との打合せ事項を共有しておくことは、円滑な信頼関係構築のために必要である。

小学生向け「体験型」金融経済教育を実施 ～第5回「親子で学ぼう！金融学習バスツアー」～

金融リテラシー向上に向けた取組として、国立印刷局、日本証券業協会、東京証券取引所、日本銀行と連携し、バスで各所を巡りお金について学ぶ体験型プログラムを実施。

概要

○金融教育に関する国際的啓発活動「Global Money Week」の一環として、小学5年生・6年生とその保護者を対象に、お金について楽しく学ぶことができる体験型プログラム「親子で学ぼう！金融学習バスツアー」を実施。

○当日は、国立印刷局東京工場、東証Arrows、日本銀行本館の見学や、日本証券業協会によるワークショップを実施し、お金の役割や歴史、正しい使い方などを学習する機会を提供。

参加無料
GLOBAL MONEY WEEK 親子で学ぼう！金融学習バスツアー

小さい頃から金融に関する知識を身につけ、お金の正しい使い方を知ることが重要です。親子で楽しく金融について考えてみませんか？

日時 令和6年3月26日(火) 9:15～16:30頃

対象 小学5年生・6年生（開催日現在）とその保護者
※保護者4名（子供1名に対し保護者1名）まで参加ください
対象学年以外のお子様のお同伴はできません

定員 12組（下記申込サイトからの事前予約制）
※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます
令和6年2月14日(水)に申し込み者全員に抽選結果をご連絡します

受付期間 令和6年1月30日(火) 15:00～
令和6年2月13日(火) 15:00

申込 申込サイト
<https://fb.mof.go.jp/kantou/rizai/pagekthp032000505.html>

プログラム
開催日：令和6年3月26日(火)

国立印刷局東京工場の見学
・お札はどうやって印刷されるのかな？
・お札の歴史や印刷技術について学ぼう！
バス移動（約25分）

日本証券業協会による講座
・株式会社（お菓子会社）の経営を体験して、株式会社の仕組みやお金の流れを学ぼう！
・講座が終わったら、持参したお弁当でランチタイム♪
バス移動（約15分）

東京証券取引所の見学
・株式の取引が行われている現場を見てみよう！
バス移動（約10分）

日本銀行本館の見学
・本館（地下金庫、旧営業場、展示室）を見て、中央銀行の業務を学ぼう！※本館は国の重要文化財に指定されているよ！

取組の成果

○参加者の主な声(アンケート結果)

<小学生>

- ・お金の話がギュッとつまった一日で、すごくためになりました。
- ・誰よりも早く新しいお札を見る事ができて、得した気分になりました。

<保護者>

- ・これまで、お金のことを意識する機会が少なかったので良い機会でした。子どもには今回学んだことをこれから意識してもらいたいと思います。



【国立印刷局東京工場】
見学



【日本証券業協会】
ワークショップ



【東証Arrows】
見学



【日本銀行本館】
見学

受講者のニーズや事情に合わせた金融経済教育の実施

財務局が地域のために果たすべき役割として、諸事情により学校に通えない生徒、障害を抱える方、定時制学校の生徒などに対し、個別のニーズや事情に合わせて、金融経済教育を受ける機会を積極的に提供。

概要

- 東京財務事務所では、①諸事情により学校に通えない生徒をはじめ、**障害を抱える方への就労・学習支援**を行っている支援団体に対して体験型の「家計すごろく」を用いた出前講座、②**聴覚障害を抱える高齢者**に対して手話通訳士の映像を入れた動画を使用した出前講座を実施。
- また、前橋・長野財務事務所においても、**フリースクールや定時制高校の生徒**に対して出前講座を行うなど、**個別のニーズや事情に合わせた活動**を提供。

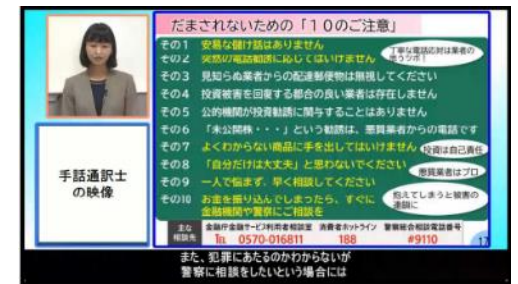


- 「家計すごろく」については、**受講機会の増加や理解定着が重要**と考え、NPO法人や支援団体に対しては、実演による説明会を通じて実演者用の台本を添えた**工作キット**を無償提供する取組を開始。



取組の成果

- 手話や字幕を入れた動画を事前に収録することで、**聴覚障害を抱える高齢者の方々に理解**してもらえるよう工夫。



- 発達障害を抱える就労支援を受けている社会人向けの講座では、**視覚的に説明するためイラストを使用した教材を活用**。その結果「大変参考になった」などの反響。

- 「家計すごろく」の無償提供に当たり、支援団体に対して「**家計すごろくの実演と説明会**を実施。その結果「障害を抱える方に、繰り返しすごろくを実施することで家計管理を定着させたい」などの反響。

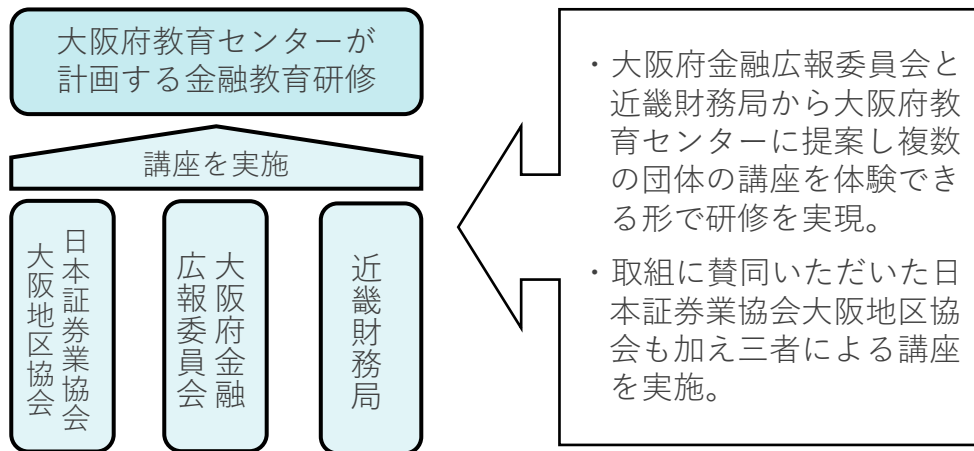


金融経済教育等の担い手育成に向けた取組

大阪府教育センター、大阪府金融広報委員会、日本証券業協会大阪地区協会と共催し、教員を対象とした金融教育研修を実施。

概要

- 若年層への金融経済教育の重要性が高まる中、地域における**金融経済教育に関わる関係団体が連携し、教員を対象とした金融教育研修を実施**したもの。
- 各団体が学生向けに実施している講座の中から、体験ゲーム等の**アクティブラーニング部分を抜粋したワークショップ形式とし、一日で複数の講座を体験できるプログラム**とした。



取組の成果

- 各団体の講座を実際に体験してもらうことにより**教員の金融リテラシー向上に寄与**するとともに、**様々な団体の取組を周知**する機会となった。
- 更に、教員自身が**あらかじめ複数の団体の取組を体験することにより、今後、以下の効果が期待できる。**
 - ・学校が金融経済教育の外部講師派遣を希望する場合、教員や学校のニーズ・特性に合った講座選択が可能。
 - ・**中長期的に、自ら金融経済教育を行う教員が増えることで、地域の若年層の金融リテラシー向上が、より効果的に推進される。**



研修の様子(班に分かれて事例を検討)



「ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト」始動

関係機関が連携・協働し、官学金一体で持続的に長崎県内の高校生向けに金融経済教育の出前授業を提供する取組をスタート。県内若年層からの金融リテラシー向上を目指す。

概要

○長崎県内では、金融機関などが出前授業を実施しているものの、実施内容のばらつき、実施先の偏り、営業活動との一体性への懸念など、取組の展開には限界が見られていたところ。

○令和5年10月、業界団体、地域金融機関などが業態を越えて結集し、「ALL長崎 金融リテラシー向上プロジェクト推進協議会」を設立。営業色を排して各機関のリソースを最適配分する体制を整備(66機関が参画)。

○協議会は共通教材を基に学校現場のニーズを踏まえて出前授業を展開。長崎財務事務所も本取組を支援。



<取組イメージ>

取組の成果

○令和5年度においては、県内高校69校(受講学生8,227名)に対し、協議会から延べ144名(26機関)の講師を派遣して出前授業を実施しており、若年層における金融リテラシー向上に着実に繋がっている。

○協議会では、今後も引き続き実施先の拡大だけでなく、個別ニーズに応じた授業内容の充実など、金融リテラシーの普及促進に向けた取組を定着・継続させるために、実務担当者間の情報共有も随時実施している。



【出前授業】



【実務者ミーティング】